

# 何とかしたい！洗濯物の生乾き臭(>\_<)

梅雨の時期、部屋干しが続き気になる生乾き臭。その原因を知って生乾き臭を防ぎましょう。

## ★生乾き臭の原因

ニオイの原因は人の皮脂等を餌にしている『**モラクセラ菌**』ということがわかっています。

実は、乾ききっていない洗濯物にはこのモラクセラ菌が発生しています。

モラクセラ菌は湿気で増殖します。部屋干しでゆっくり乾かしていると、どんどん増えてしまうのです。

洗濯である程度落とせるのですが、長く使っていると残った菌が繊維の中で固まり、やがて洗濯しても落ちなくなってしまう。これが生乾き臭の原因です。

そしてこのモラクセラ菌は60℃以上の熱で死滅することがわかっています。

## ★生乾き臭を消す方法

### ①「酸素系漂白剤」を使う

酸素系漂白剤を40℃くらいのお湯に溶かし、その中に洗濯物をしばらく浸けます。すぐに泡が出て除菌が始まります。泡立ちが終わったら、そのまま洗濯します。

酸素系漂白剤には液体と粉末がありますが、除菌には粉末の方が働きを実感できるそうです。

### ②乾燥機にかける

家庭用乾燥器の場合、60℃程度までしか上がりません。モラクセラ菌の死滅には60℃以上の熱が必要と考えると少し頼りない印象があります。

しかし、コインランドリーの乾燥機は80℃以上の温度が出る場合が多いので、高温に弱いモラクセラ菌の除菌にぴったりです。

でも、毎回コインランドリーに持っていくのは大変なので、普段は家庭用の乾燥機を使い、月に1回など定期的にコインランドリーで乾燥させると生乾き臭の予防になります。

### ③熱湯につけ置きする

大きめの入れ物に洗濯物を入れ、熱湯をかけて30分ほど置きましょう。これで除菌完了です。

ただし、煮沸するほどの高温をかけると布が傷んでしまうので気をつけましょう。

### ④重曹を入れて洗濯する

重曹はアルカリ性で、酸性の汚れを落とすのに効果的です。酸性の皮脂や汗を重曹で落とすことで菌の増殖を防げます。

使い方は洗濯するときに普段使っている洗剤と一緒に入れるだけ。

重曹は水に溶けにくいので、洗濯機に入れる前にお湯でとかしておくといいでしょう。

また、重曹は柔軟剤のような働きもあります。ぜひお試しを。

## ★生乾き臭を防ぐために

### ①一度にたくさん詰め込んで洗濯しない

たくさんいれてしまうと、洗濯物がきれいに回らず、逆に菌を繁殖させてしまいます。

洗濯槽の7～8割程度にとどめましょう。

### ②脱水が終わったらすぐに干す

雑菌が繁殖する前に干すのがポイント！

③風通しが良くなるように干す

洗濯物同士が重ならないように、また太めのハンガーに干すと内側の風通しが良くなり早く乾きます。扇風機を使うのも良いでしょう。

④アイロンをかける

洗濯して干した後、ある程度乾いたタイミングでアイロンをかけることで、アイロンの熱により菌を死滅させ、乾きが早くなることで菌の増殖やカビの予防にもなるでしょう。

⑤洗濯機の掃除をしましょう

洗濯槽はカビなどの雑菌の宝庫です。漂白剤や熱湯を使ってもニオイが改善されない場合は洗濯槽の汚れが原因かもしれません。

これまでのいろいろな生乾き臭対策は衣類の種類によっては生地を傷めてしまうこともありますので注意してください。

梅雨の部屋干しでの生乾き臭を防ぐためにちょっとひと手間かけてみてはいかがでしょうか(^\_^)v

参考文献:LIMIA  
くらしのマーケットマガジン